

1 活動の概要

ドラム缶コンロやかまどでの焼きいも体験

2 ねらい

- ・直火でじっくりと焼いたサツマイモのおいしさを味わうとともに、焚火体験を楽しむ。
- ・食育の一環としての体験活動をする。

3 活動場所 野外炊事棟付近

4 所要時間 1.5～2 時間

5 準備・服装

個人・団体	動きやすい服装、軍手、アルミホイル、キッチンペーパー、新聞紙
青少年の家	ドラム缶コンロ（またはかまど）、ガスバーナー、薪（有料）
食堂	サツマイモ ※事前に「食事数申込書」を提出する。

6 経 費 1セット 950円 ※食堂にサツマイモを注文する場合
(1kg) ※薪を購入する場合は、1袋 550円

7 活動の流れ ※下線は留意事項

(1) 熾火（火の勢いが強くて赤く熱した状態にある炭火）を作る

- ・ドラム缶コンロ（またはかまど）に薪を入れ、着火する。
- ・火を付けたら薪を動かさず、炎が落ち着くまで放置する。
- ・火力が弱くなったら、そっと薪を追加する。
- ・薪の芯が赤くなったら完成。

※必ず大人が火の番をする。



(2) サツマイモを包む

- ・水がしたるほど濡らしたキッチンペーパーでイモを包む。
- ・アルミホイルをくしゃくしゃにしてシワを作り、キッチンペーパーの上からイモを包む。

（焦げ付きが心配な人はアルミホイルをもう1枚増やす）



(3) サツマイモを焼く

- ・熾火にさつまいもを置く。火力の強い場所から離す。
- ・およそ30～40分で完成。
- ・1～2回焦げ付きを確認し、位置調整を行う。
- ・触ってみてグニグニするくらい柔らかければ、ホクホクの焼き芋の完成。

※触る場合は、軍手を使うなどして火傷に注意。



(4) 食べる 片付け

- ・手で触れるほどアルミホイルが冷めたら食べる。

※火傷に十分注意する。

- ・ドラム缶コンロ（またはかまど）の灰は、水をかけて消火した後、灰捨て場に捨てる。

